



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和5年10月26日発行

第15号

中信教育事務所

ご意見はこちら→   ←過去の「共に歩まん」はこちら

シリーズⅢ「教育課程研究協議会特集」①

図画工作科、道徳科

【図画工作科】 塩尻市立塩尻西小学校（第4学年）

題材名：光とかげから生まれる形

【目指す子ども像】

○ともに学び学びを楽しむ ○人にもものに心をこめる ○心も体も元気



目指す子どもと出会うために

1. 影の形や色の感じ、組み合わせによる感じを基に造形的な活動を思い付き、どのように活動するかについて考える学習。
2. 子どもの、「やりたい」思いを基にした題材設定。
3. 材料の置く場所や向きにより、形や色の感じが変わることを理解できるような、導入場面でのシルエットクイズ。

〈本時の子どもの育ち〉

用意された材料（紙コップ、洗濯ばさみ、ペットボトル）の中から、使いたい分の材料を手にとったH児。紙コップに洗濯ばさみを付けた影の形からイメージし、ペットボトルを並べていく活動を思い付きました。また、ペットボトルを上下逆さまにする動作を繰り返しながら、自分にとって、どのような影の形をつくりだしたらじっくりくるのかを考える姿が見られました。

【道徳科】 松本市立開成中学校（第1学年）

主題名：思いやりの心（B6思いやり、感謝） 教材名：「父の言葉」（光村図書出版）

【目指す子ども像】

○課題を見つけ、主体的に取り組む生徒 ○優しい声かけや親切な行動ができる生徒
○筋道を立てて考え、考えを行動に移せる生徒

目指す子どもと出会うために

1. 資料の登場人物に自分を重ね、思いを語り、道徳性を深めていくこと
2. 道徳性を深めていくための対話（自己、仲間、教材、教師）の場の設定
3. 前時（1学期）の「思いやり」の振り返りと本時の振り返りを比較する

〈本時の子どもの育ち〉

授業者の粟飯原先生は、「相手のことを考える」ことを大切にしたいと考えている生徒たちに、自分事として考えてもらいたいと願い、「相手のことを考えて行動するとき大切なのは、どんなことだろう」という学習テーマを設定して、上記の手だてを基に授業に臨みました。

T生は、本時の振り返りの場面で、1学期の「思いやり」の振り返りを読み直したり本時の学習カードを見直したりした後、「相手の立場を自分に置き換えて、先のことも考えながら相手に接するとよいと思った」と記述し、思いやりに対する見方・考え方を深めている姿が見られました。

